



## 検査情報月報9月号 ▶ 概要版 ◀

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2023年9月発行

### 新型コロナウイルスの全ゲノム解析（2022年1月～2023年8月）

▶ 2022年1月に採取された検体から、当所で、次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析を実施しています。

**主な結果** ▶ ウイルスが検出された検体のうち、次世代シーケンサーで解析可能であった658検体について解析した結果、658検体全てがオミクロン株であり、BA.1, BA.2, BA.4, BA.5, XBBの5系統に分類されました。

▶ 2022年2月の第6波はBA.1系統が主に検出されていましたが、8月の第7波は主にBA.5系統でした。その後、2023年1月の第8波には再度BA.5系統の検出割合が高くなりました。さらに2023年5月からはXBB系統の検出割合が高い傾向にあり、8月に入るとXBB系統の中でもEG.5系統の割合が増加しています。

### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2022年）

▶ この感染症は、溶血性を示すA群等のレンサ球菌によって引き起こされます。基礎疾患の有無に関わらず、突然の四肢の疼痛、腫脹、発熱などで発症し、その後急激に症状が進行して、ショック状態から死亡することも多い感染症です。

**主な結果** ▶ 市内医療機関から保健所へ届出があった27事例から分離された菌株29株が搬入されました。

▶ A群は10事例、B群は6事例、F群は1事例、G群は10事例でした。高齢者に多く発症する傾向があるものの、10歳未満にも発症がみられました。

### 海水浴場水質調査結果（令和5年度）

▶ 金沢区の「海の公園」海水浴場において、5月及び7月に環境省からの通知に基づく水質調査を行いました。水浴場水質判定基準によって「適（水質AA、水質A）」、「可（水質B、水質C）」、「不適」の5段階に区分しました。

**主な結果** ▶ 判定区分は、5月は「可（水質B）」、7月は「可（水質C）」となりました。

▶ 油膜の有無、透明度及びふん便性大腸菌群数の3項目は、5月及び7月ともに「適（水質A）」の基準値を満たしていました。化学的酸素要求量（COD）については、5月は「可（水質B）」の基準値を満たしていました。また、7月は「可（水質C）」の基準値を満たしていました。